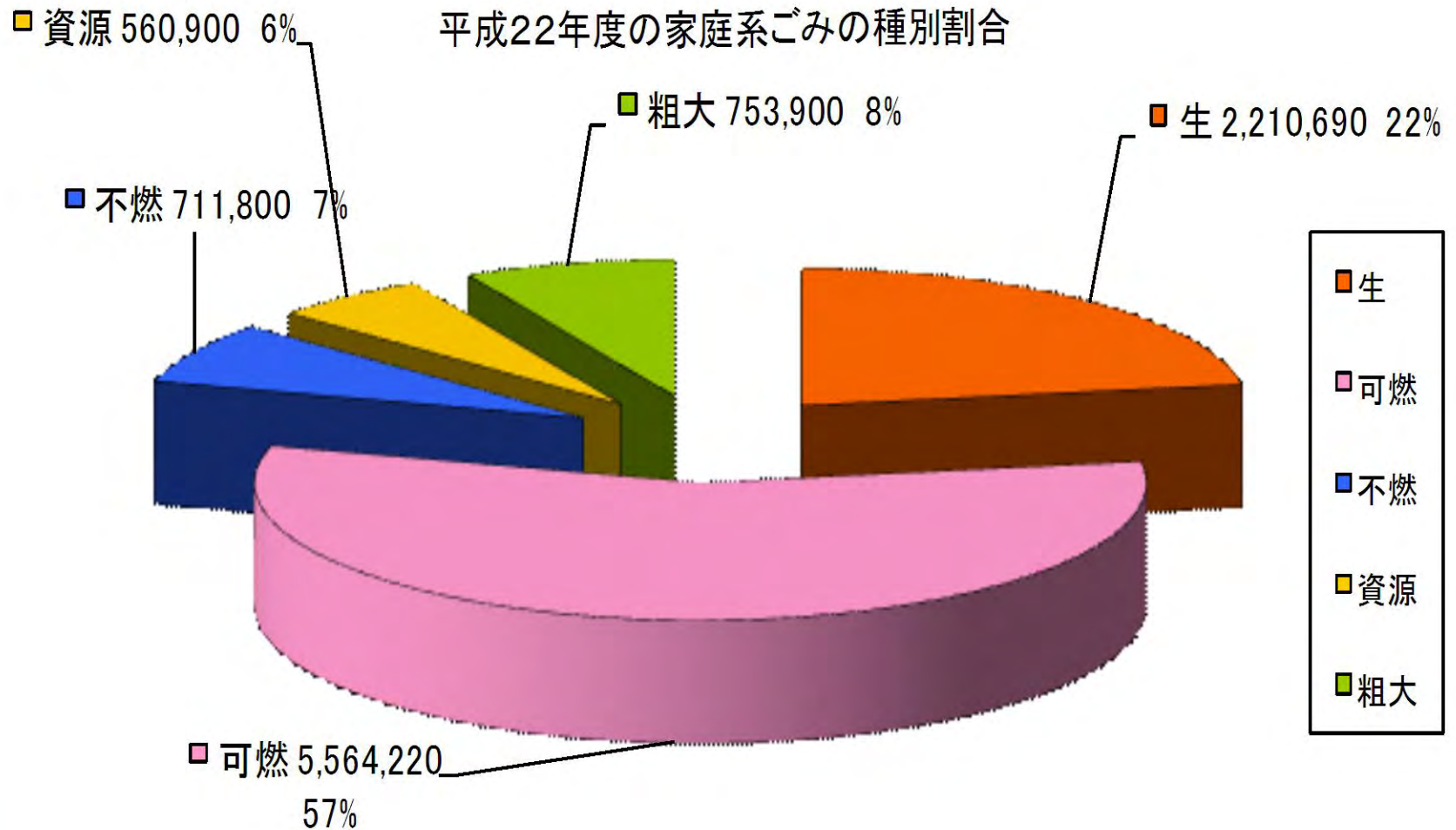
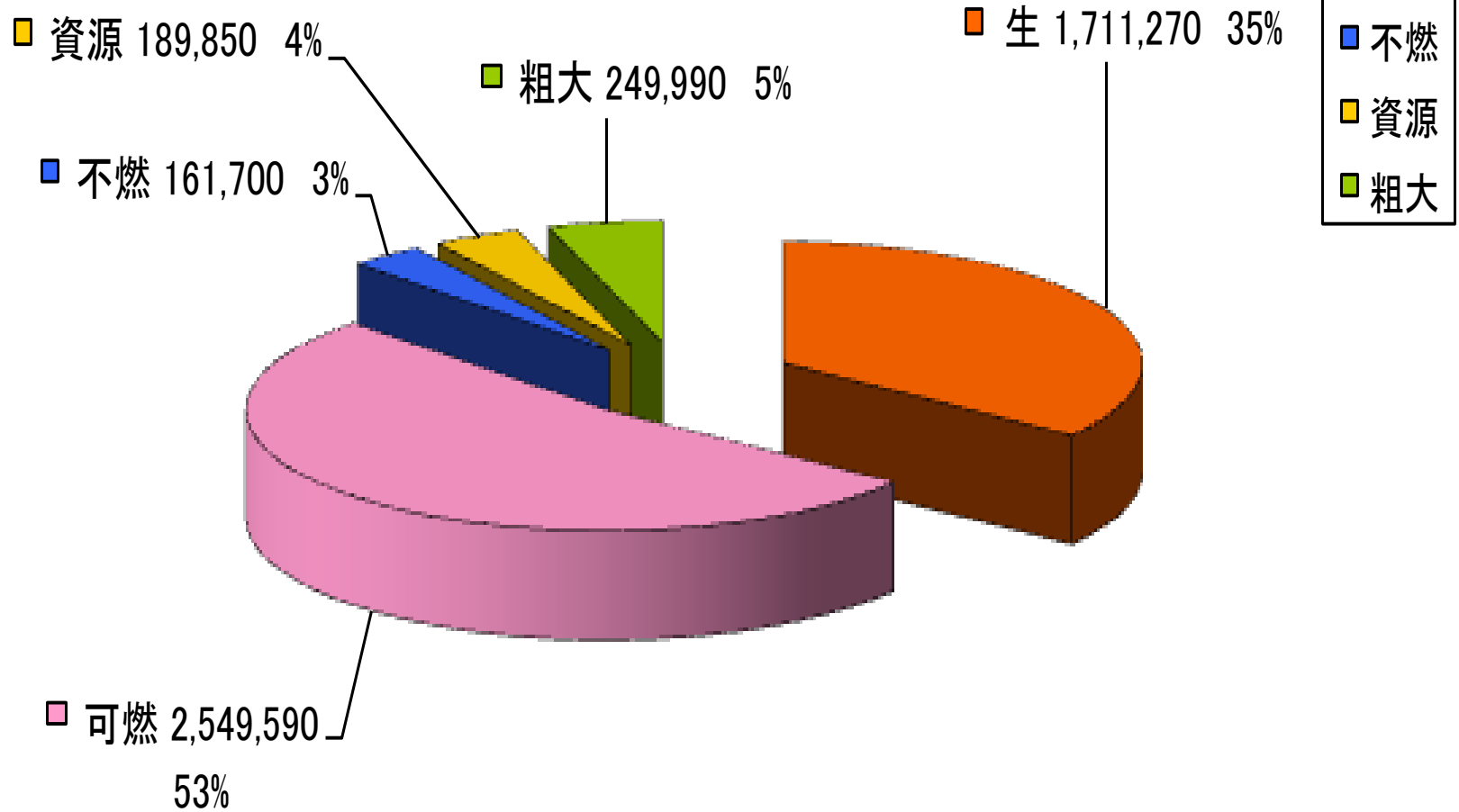


⑤ 滝川市のごみの種別割合



平成22年度の事業系ごみの種別割合



⑥ごみ処理手数料の考え方（従量制導入時 H15）

昭和61年度に定額制ごみ処理手数料を導入した当時のごみ処理経費は、およそ4億2千万円の費用がかかっていました。定額制ごみ処理手数料では、これらの費用の約17%を市民が負担していました。

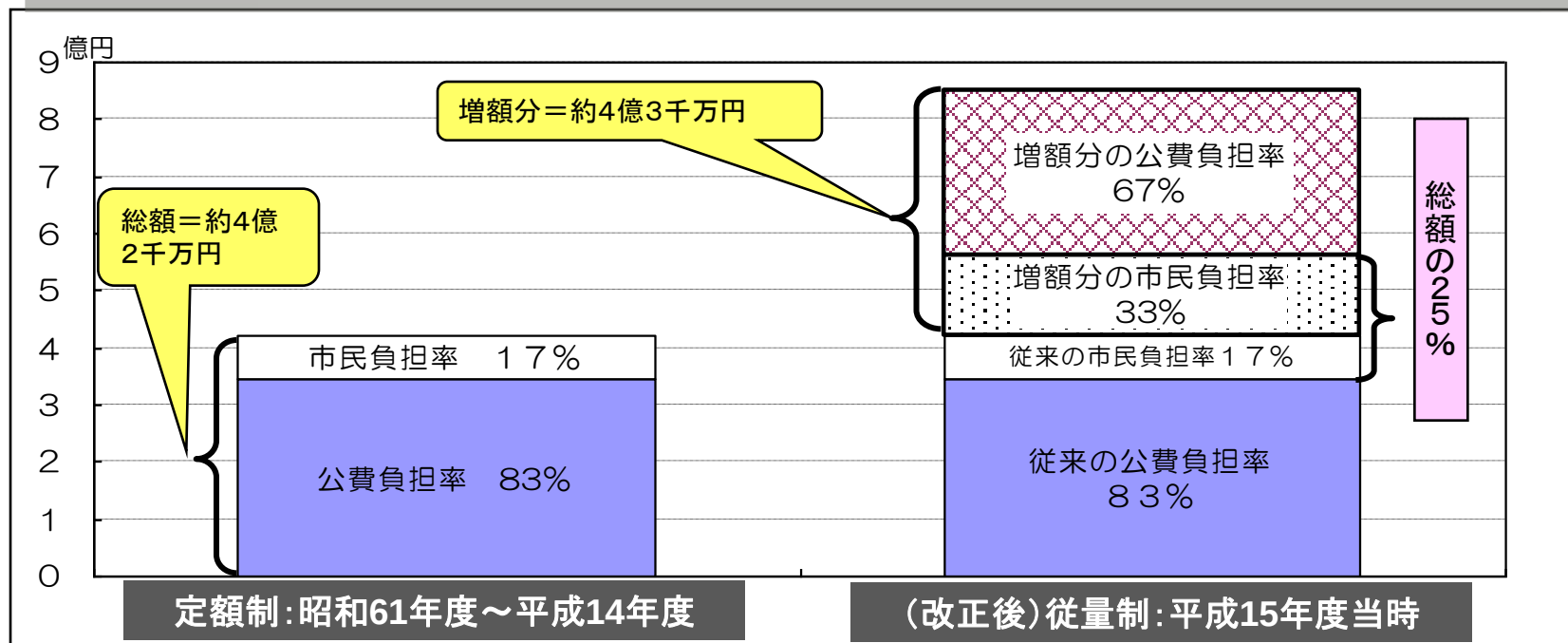
しかし、循環型社会形成を図るための新しいごみ処理（平成15年度～）には、さらに4億3千万円が必要となることから、増額となる費用のうちの約1/3をさらに市民に負担してもらうことにしました。

最終的には従量制導入（平成15年度）の試算時点における全体費用の約25%を市民に負担していただく割合で新たな従量制ごみ処理手数料をスタートさせました。

◎袋の値段の決め方【市民負担額＝2億円】÷【家庭系年間想定ごみ量＝1万トン】＝20円/kg

【大きな袋1個当たりの平均重量＝4kg/袋】×【20円/kg】＝80円/袋

※従量制とは、ごみの排出量に従い市民が負担する仕組みで、現在のように、有料の指定ごみ袋によりごみを排出する仕組みです。



⑦ 滝川市のごみ処理手数料と収集体制

平成15年度からは、ごみ処理手数料が含まれた指定ごみ袋等を購入してごみを排出してもらう「従量制」になっています。ごみ処理量と市民負担の割合から算定したこれらの料金と収集回数

種 類		大 き さ	単 価 / 枚	収 集 回 数	備 考
生 ご み		12リットル	80円	市街地区：週2回 農村地区：週1回 (同一日)	指定袋取扱店 約80店 取扱手数料 8% 収集体制＝全面委託 ◆生、可燃、不燃 3地区延13台 ◆資源・粗大 1地区延3台
		6リットル	40円		
		3リットル	20円		
燃やせるごみ		40リットル	80円		
		20リットル	40円		
燃やせないごみ		40リットル	80円	月1回	大：400円分(1mかつ20Kg)
		20リットル	40円		
		10リットル	20円		
資源 ごみ	びん	20リットル	10円		
	缶	40リットル	10円		
	ペットボトル	50リットル	10円		
	古紙類(段ボール、新聞、紙パック等)		無料		
粗 大 ご み		1枚	200円		
そ の 他 ご み		指定なし(無料シール配布)		年6回	ひも類・鉄塊類

⑧リサイクルのごみ処理フロー

